

# 新潟県 育児休業ローン

申込受付期間 平成6年3月18日まで

(但し、融資枠を超えた時は、期間中でも申込受付を終了します。)

育児休業者生活資金貸付金(育児休業ローン)は、「育児休業法」が平成4年4月にスタートしたことに伴い、育児休業制度の定着を図るために、育児休業の取得促進を目的としたローン制度です。

## ご利用 できる方

- ▼次の項目の全てに該当する方
- 1才に満たない子供を養育するために、育児休業を取得する勤労者
- 県内に居住または勤務されている方
- 同一勤務先に1年以上勤務されている方

## 融資条件

- 融資金額/ 10万円以上100万円以内(1万円単位) \*ただし、育児休業期間が3ヶ月以下の方は最高50万円
- 融資利率/ 3.8% (固定金利)
- 融資期間/ 6年以内(最長1年の据置期間含む)  
\*据置期間は復職日まで。ただし、子供の満1才の誕生日が限度となります。
- 返済方法/ 12回・24回・36回・48回・60回の元利均等毎月返済(ボーナス併用返済可)
- 保証人/ 原則として不要、保証協会の保証付(保証料ろうきん負担)
- 担保/ 不要

■お問い合わせ先■ 新潟県商工労働部労政課 新潟県労働部労政課  
☎ (025) 285-5511

新潟労政事務所  
☎ (025) 231-8171

この劇の実行委員会「マスターキー」と村中央公民館では、国際交流事業の一環として今回の劇団講演を企画しましたので多数おいで下さい。

○日時 6月7日(月)午後7時～8時30分

○会場 村中央公民館

主催 実行委員会「マスターキー」

共催 横越村中央公民館  
問い合わせ 村中央公民館  
内社会教育課(電話二八五一二〇四三)まで。

・参加資格  
・本村に現住所を置く者  
・本村に在する事業所に勤務する者

・横越中学校OBである者  
・申し込み、問い合わせ  
・5月13日までに参加費二千元を添えて中央公民館へ

・試合日  
・5月24日から毎週(月)の(内)曜日の一日一試合



## みんなおいでよ 「竹のこ」フェアフジコマ

藤山・駒込地域住民の生活に密着して育まれてきた竹林と恵みである「竹のこ」を活用し、消費拡大や竹林の保護また、観光園としての自然景観を保持するために開催するもの。

- 期 日 5月9日(日)
- 時 間 午前9時～午後3時まで
- 会 場 野菜集出荷場、農村公園
- 内 容 竹のこ掘り親子体験、竹のこ展示販売、竹とんぼづくりなど。

## 毎月返済額

融資金額	1年(12回払)	3年(36回払)	5年(60回払)
30万円	25,520円	8,830円	5,500円
50万円	42,530円	14,720円	9,160円
100万円	85,060円	29,440円	18,330円

■用途  
育児休業期間中の社会保険料及び生活費全般

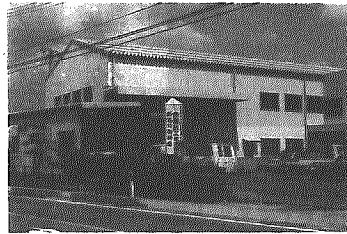
■申込方法  
ローン申込書・育児休業証明書に関係書類を添えて、労働金庫本・支店に提出してください。  
\*ローン申込書・育児休業証明書は労働金庫本・支店にあります。

## ●取扱金融機関● 新潟県労働金庫

## 企業訪問シリーズ②

どんな仕事でも一人ではできない。  
お客様と共存共栄の精神で全力をつくす。

## 伊藤鉄工株式会社



苦勞を苦勞と思わない伊藤社長

〈創業は、昭和40年4月〉  
伊藤さんは、農家の三男坊であり、家を継がなくてはよかったため、学校を卒業すると八年間、愛知県名古屋市のイトーテック株式会社で断裁機の販売、修理などの修業をしてきました。修業中も新潟へは、営業できていたが、断裁機

## お客様を大切に 多業種で販路を拡大

の販売代理の権利や技術などを修得して帰郷し、昭和40年4月に独立しました。当初は、名古屋から旋盤機やボール板などを購入して、実家の作業小屋を借りて販売を始めました。昭和42年8月、横越に移転。

当時、仕事という仕事は、あまりなかったが、農機具のブリー加工や修理などもしていました。

その後、鉄骨工事の建設業許可を得て事業を拡張してきました。

〈取り巻く状況〉  
バブル経済の崩壊により、印刷業界や鉄骨関係は、沈滞ムードが漂っているという状況は否めない事実です。横越で事業する場合、これ一つというわけにはいかないし、いろいろなものをやらなければ生き残れない。たとえば、機械でも一台売れば約10年のもつし、客もきまってくる。

主力は、機械販売であるがアフターを兼ねて修理もやっています。

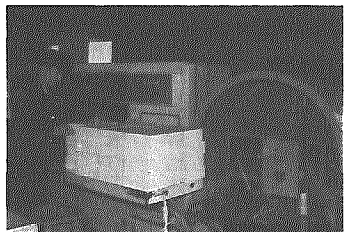
また、鉄骨関係の溶接もおりましてやってきました。

ところで、断裁機は最初の頃、機械と認識していませんでしたが、お客様自体が法人組織であったため、伊藤さん自身も商取引をする上で法人にせざるを得なくなりました。昭和55年8月に法人組織に踏み切りしました。

昭和58年には、紙の裁断も始めてきました。

〈21世紀に向けて〉  
これからも今まで機械を販売したお客様につきあいを大切に共存共栄の精神でやっていきたい。

ところで、鉄骨関係は、一回建てれば二度、三度建てるということはありません。年々通してやれる仕事を継続して



断裁機を主力商品

く考えです。

伊藤さん自身、お客様から注文を受けた仕事に対しては全力をつくしてやりとおすことをモットーとしています。

特に今までも苦勞を苦勞と思わず辛抱して努力し、へこたれないで一代で事業を軌道にのせ成功させてきました。

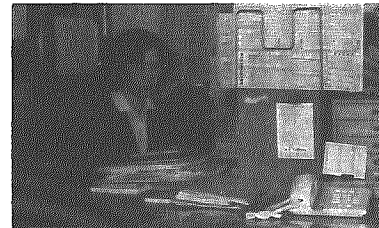
その中で、どんな仕事でも一人では、できない。みんなの協力があつたからこそ、ここまでこれたと回顧してくれました。

伊藤さんは、せっかくな

奥さんと二人三脚

## ■主な取引先

- ・イトーテック(株)
  - ・柴田屋加工紙(株)
  - ・北越製紙(株)
  - ・北越紙精選(株)
  - ・印刷業者
  - ・製本・紙工業者
- 名古屋市  
横越村  
新潟市  
新潟県内



奥さんと二人三脚

## ●会社の概要

- 創 業 昭和40年4月、  
沢海で創業開始  
昭和42年8月、  
横越に移転
- 法人設立 昭和55年8月
- 資本金 3百万円
- 社員数 7名(横越村在住4名)
- 業 種・機械(印刷・製紙)関係販売修理
- ・溶接・鉄骨工事  
請負
- ・紙の加工裁断
- ・刃物研磨



刃物研磨はおまかせ